

星屑

2012年8月号

No. 449



金星の太陽面通過
2012.06.06
熊本県民天文台

15cm屈折 FL:1,200mm
NIKON D3000
Marumi ND100000 filter

撮影時刻(左から) 7:30 8:30 9:30 10:30 11:30 12:30 13:31

金星の太陽面通過

Sky-Watcher BK-15012

熊本県民天文台にて撮影

熊本県民天文台

今年の梅雨は、なんだか変ですね？！

「金星の日面経過」以降、7/7まで晴れませんでした

7月12日(木)には、熊本県内各地で豪雨被害も発生しました。

「梅雨明けは早いかも」という予報

それはいったいどこへ行ってしまったのでしょうか？ 梅雨入りしてみれば、予想とは全く違うお天気続き。数度の豪雨で、いつもの梅雨を遙かに超える雨が降ったようです。たっぷりと雨水を吸い続けてきた大地がついに耐えきれなくなった、そんな感じなのかも知れません。

6月の一般公開は寂しい結果

ほぼ全滅と行っても良い状態でした。週末どころか、連日のように曇りか雨。日差しのない日ばかりが続き、その結果、今月号では画像入りで紹介できる一般公開のイベント数がグッと少なくなってしまいました。

ドラッグストア・モリの出店計画

6月14日(木)に出店者側と面談、引き続き協議を行って、当初計画よりも「漏れ光」を大幅に減らしていただく方向で調整を進めています。天文台側に当たる東面や南面については、ほとんど開口部をなくしてもらいました。夜間照明の数も減らして、点灯時間も大幅に削減。物品の搬入時だけにするといった方針も確認しています。

駐車場照明については、投光器を採用する場合でも上方向への漏れ光をなくすためにルーバー内蔵にすることを確約。さらに、費用や照度を検討して、可能ならば上方光束制限型の照明器具を導入することも視野に入っています。

そして、一番の問題だった、店舗正面の天井高付近に並ぶ開口部分についても、漏れ光を軽減するための処置がとられそうな気配になっています。これらは、数回の協議を通じて、私たちの真剣さが出店者側に伝わり始めたことを意味しています。

また、昨年の原発事故以降、電力事情が厳しくなり、供給力の不安から計画停電の予定表が発表されたり、電気料金の値上げが取りざたされるなどの事情も、出店者側の考え方へ影響を及ぼし始めているようです。これまで「明るいことは良いことだ」としか考えていなかったり、

「出店時の費用は安ければ安いほど良い」といった感覚だったのでしたが、ここへ来て「将来的な運用経費も重要な」「リスク要因はできるだけ排除しておこう」という考え方も出てきたのではないでしょうか？

造成工事から建設へ

出店の予定地では、造成工事がほぼ完了し、いよいよ建築工事が始まる気配です。

私たちは、開業の日まで、粘り強い交渉を続けようと思っています。出店者側にとっても私たちにとっても、WIN・WINの関係になることを目指して、新しい時代に対応した「環境共生型の店舗」にして頂くよう、強く要望し続けます。

城南町時代には、上方光束ゼロ型の防犯灯を400基以上も導入し、「星空の見えるまちづくり」を推進。星が見える環境をなんとか維持できていました。しかし、熊本市との合併後は、少しでも気を抜くとあっという間に星が見えなくなる、そんな危険も潜んでいます。

7/7(土) 七夕、土曜日、しかも昼間は久しぶりに晴れ!

観測室が満杯！ 大盛況！ でした

玄関前にビニールシートを広げ、1階では電子紙芝居で解説しました



お昼頃から

「今夜は七夕ですよね、星は見えますか?」、「天文台では何かイベントがありますか?」、「そこに行っても良いですか?」、「星を見せてもらえますか?」、「どこにありますか?」、「どうやっていけばいいですか?」、「予約は必要ですか?」、などなど、たくさんのお問い合わせ電話が、私(艶島)の携帯電話に転送されてきました。

土曜日・晴れ・七夕

新暦の七夕(7月7日)は、例年梅雨の真っ最中、曇りか雨の場合が多いのです。それでも、毎年数家族が天文台へやってきます。ところが、今年の梅雨、とんでもないほどお天気が悪くて、昼間に日差しを見たことがほとんどないほどだったのです。それなのに、それなのに、なぜか七夕の日だけ「久しぶりに晴れ!」のお天気。土曜日だし、皆さん「今夜は絶対星を見たい!」という気分になったのかも知れません。

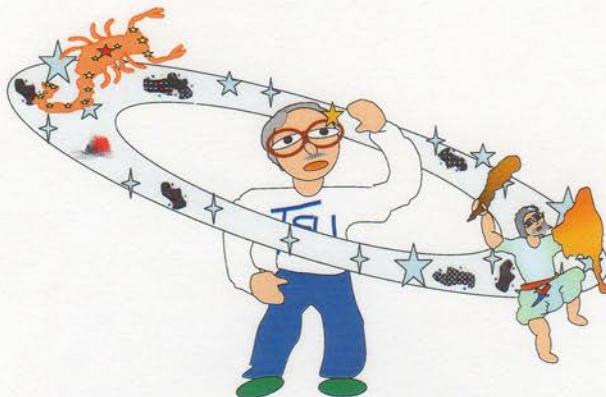
「今夜は来台者数が増えそうだ、この分だと観測室には入りきれないだろう」と、容易に予想することができました。それで、「玄関前にビニールシートを広げ、そこで靴を脱いでもらおう」、「周囲が暗くなるのは20時過ぎ、電子紙芝居での解説はミーティングルームで開始しよう」と考え、少し早めに出かけました。

東の空に、夏の大三角が

20時を過ぎて、次々と星達が姿を現し始めると、「織姫星はどれ?」、「彦星は?」、「頭の上に光っている星は?」などと、次々と声が上がります。その一つひとつに応えて、星空を指し示し、星座の解説を展開しました。しかし、残念なことに、だんだん雲が広がって、しかも次々と湧いては流れていきます。望遠鏡で星を観察するのが難しくなってしまいました。

電子紙芝居

そこで、「では、1階へどうぞ、星空の解説が始まります」と誘導。ミーティングルームで電子紙芝居での解説を始めました。最初の演目は、「喜界島のアムリガー」。なんといっても七夕ですからね。続いては、「今夜の星空」、天頂付近を境に、西側の空には春の星座が見えていて、東側の空には夏の星座達が見えていることを紹介。そして、それぞれの星空にはどんな違いがあるか、撮り溜めたたくさんの天体写真を使って説明しました。



まだったそうです。ところが、最近になって、その成因をうまく説明できる学説が発表され、注目が集まっているのだとか。その辺りの面白さを、ちょっとだけご紹介しました。

その話題を知っている人は少なかったようで、話し終わると、たくさんの質問が吹き出しました。そのやりとりは、楽しかったですよ! そして、そんな解説の合間にも、「今、星が見えていますよー!」という声がかかると、解説を中断。みんなで2階に上がって望遠鏡で観察するという具合。たっぷり22時まで、大勢の方が楽しんで下さいました。受付名簿に記名があったのが50数名分ですから、たぶん60名以上の方がおいでになったのでしょう。

とても賑わった今年の七夕公開ですが、忙しすぎて、公開の様子をほとんど写真撮影できなかつたのがとても残念です。

鉢植えの七夕飾り

例年同様に天文台の玄関前で大勢のお客さんを出迎えた七夕飾り、しかし、今年は、昨年までとは違う「革新的」な試みがなされていました。いつもは、切ってきた竹の葉があっという間に枯れてしまっていたんです。それを何とかしたいと考えていた運営委員の高田さん、今年は、いつもより小さな竹を選んで、それを根っこが付いたまま採取、そのまま「鉢植え」にする方法を思いついたのだそうです。子ども達のためにやってみたら結構うまくいった、というので、天文台用にも1本用意して、運び込んで下さったのです。

それを知った西嶋さんが、短冊やコヨリ、笹飾りを作つて下さつて、七夕の日のオープン前に飾り付けをし、玄関前に配置しました。天文台の玄関には、受付ノートと、短冊と、ペンやマジックと、コヨリとがおかれて、立派な記帳台になつていました。来台した人たちが、自由に願い

その後に上演したのは「グールド・ベルト」の話題。グールド・ベルトは、太陽系を取り巻くようにたくさんの大質量星が輝き、星間分子雲も連なっている、直径3000年光年ほどのドーナツ状のベルト(リング?)です。19世紀後半にはその存在が指摘されていたのだけれど、銀河面とは20度ほど傾いていて、なぜそんな構造ができたのかは、長い間謎のま

事を書いて飾れるようになっていたんです。これも、大変な人気でしたよ!

心地よい疲労感

6月は、「金星の太陽面通過」の時に特別公開をして以来、ずっとまともな一般公開ができないまま。天体写真を撮影することもできないし、何ともすっきりしない日々を送っていました。だからでしょうね、久しぶりの賑わいで、心地よい疲労感を楽しむことができ、良かったです。

7/8(日) 熊日朝刊に、開設30周年の記事が掲載されて
夜の公開は 大賑わいでした！

お天気も爽やかな快晴、天の川がクリクリ見えました



土田瞳の
受け付けで、同
科、星が見えて
た。同天文台分
院 6060。
(横山千尋)

会員は40代以上が多く、次世代の担い手づくりが課題。
「宇宙への関心は決して低くなっていないと思うが、若者の会員が少ない」と鶴島さん。
「広大でダイナミックな宇宙を考える人と人生觀が変わる。
若者に宇宙の面白さを伝える工夫をしていただきたい」と意気込む。

ラン会員が交代で解説してくれる。土屋や木星、月が人として、望遠鏡の映像を拡張電話のカメラで撮影して、お土産にしてもらう。

期で回っていたことが判明。「ブラックホール 자체は見えないが、互いに引っ張り合っている星は見える」と気きを観測会で紹介するよくなつたという。

七夕から、一夜が明けて

朝目覚めたら、見事な青空が広がっていて、カラッと乾いた空気があたりを満たしていました。梅雨前線が九州付近で大幅に南下、北側の移動性高気圧が九州をドッカと覆っているんです。お陰でとても爽やかな目覚め、昨夜の疲れはきれいに吹き飛んでいました。

朝から電話が

そう言えば、今朝は、熊日朝刊の「南区発」というコーナーに、「県民天文台が開設30周年を迎えた」という記事が、デカデカと掲載されていたんです。それで、朝から数本、いろんな内容の電話がかかってきました。

いつなら「天文台はどこにあるか?」、「星を見せてもらえるか?」という内容が多いのですが、この時ばかりは全く違う質問が多かったという印象です。詳細は覚えていませんが、「この記事を読んで、そんな質問を思いつくのね?」と、むしろ感動したほどでした。

でも、「今日も相当数問い合わせの電話がかかってくるだろう」という私の予想は外れて、夕方近くになっても、七夕の日ほどには電話がありません。お天気が良すぎて、もしかしたら、皆さん行楽に出かけてしまい、今夜は暇なのか?と思ったほどです。

19時15分に、最初の一家族

しかし、準備が終わって、観測室の屋根を開けたら、すぐに古墳公園内を歩いてくる家族連れの声が聞こえ始めました。「この人達、星見かなあ? それとも、お散歩かなあ?・・・」、「まだ太陽が地平線に沈んでいないよ」、そんな、寿郎さんや私の心配をよそに、彼らは嬉しそうに天文台の玄関前に到着。「まだ早いかなあ?」なんて心配している様子。せっかく来られたのですから、「どうぞ、2階へ!」と声をかけ観測室に上がっていただきました。

最初は水星探し

まだ空は真っ青、肉眼では全く星が見えません。ワラにもすがる想いで、壊れたと聞いていた望遠鏡制御用パソコンの電源を入れてみました。すると、何とか起動しました。起動したとたんに「アップデートを完了するには、パソコンを再起動せよ」としつこく要求するので、やむなく再起動。ようやく望遠鏡制御システムが動き始めました。前回使ったときに不調だったのは、1ヶ月もの間このパソコンを使う機会がなかったので、アップデートが溜まりまくって不調になっていたのかも知れませんね。

望遠鏡の鏡筒を西の地平線に向けてから、制御ソフトの画面で西の地平線近くをクリック、望遠鏡と同期させます。次に水星の位置をクリック。「導入」と進むのですが・・・、ここでソフトが勘違い。地平線よりも下方向に向けて鏡筒を動かし始めました。「またか! やっぱり!」、このソフト、地平線付近を基準にすると、たいていこんな風に暴走するんです。

仕方がないので、もう一度望遠鏡を水平にしてから、今度は、「西の地平線より少し上」をクリック。そこで同期をとつてから水星に向きました。しかし、空が明るくて・・・、ファインダーには何も見えていません。いいえ、視野にはゴミが一杯! です。やれやれ・・・。

レグルスを導入しよう

方針を変えたのが良かったようです! 高度が高い分だけ、空が少し暗く見え、コントラストが上がったんですね。キラリ! と、レグルスがファインダーの視野に見えました。急いでレグルスを41cm鏡の視野中央に誘導。そこで同期をとりなおしてから、水星を導入するよう指令を出しまし

た。そんなドタバタ劇を面白そうに見守っていたお客様達、望遠鏡が向けられた方向を見て、「これじゃあ何も見えないだろう」と思っている様子。確かに、そこはまだ金色に輝く明るい空でしたからね。

でも、次の瞬間、「あったー！ 水星だ！ あれえー、三日月状に見えるぞ！ これはすごい！」という声に引き寄せられ、望遠鏡の接眼部に吸い寄せられてきました。次々と階段を上っては水星を観察。「確かに三日月型に見える。これって月じゃないよね、月はどこにも見えていないから」などと、もう一度西の空を眺め回したりしています。

解説側の私たち、「水星は、太陽のすぐそばを回っているので、見ることがとても難しいのです」、「ちょうど杉林のスキマに見えているでしょう？ こんな水星を見られるのは、本当に幸運なんですよ」と強調。すると、しばらく交代で見ていたお客様達が、我先に携帯で写真を撮影し始めました。この間にも、次々とお客様がやってきて、あたりが薄暗くなった20時頃には、観測室がほぼ満杯になりました。

天の川がきれいに見えました！

21時頃になると、天の川が誰の目にも分かる明るさで見えるようになってきました。いて座のあたりは特にモコモコした良い感じです。それまで、「このあたりがボオーッと明るいでしょう？」と誘いかけても、「どこ？」「明るいかなあ？」「わからない」なんて言っていた人たちですが、ようやく「天の川」が見え始めたようです。

望遠鏡での観察も、水星・火星・土星と進み、クッキリハッキリ見える土星の輪には皆さん大感激。タイタン始め土星の衛星が4・5個見えているのにもびっくりしていました。「これって、写真じゃないですよね？」「ハッキリ見える！」「本当に輪があって、あそこに浮かんでいるんだ！」「輪って何でできているの？」と、感激していました。

スピカとアンタレスを観察し、21時半を過ぎた頃、さすがにお客さんの数が少しずつ減り始めました。そこから、ようやく、星雲・星団巡りが本格化。M22やM27、M57など、夏の星空の名

所を次々と導入して、楽しんでいただきました。

天星座の解説も

夏の大三角や、そこから見つかる蛇遣い、ヘルクレス。そしてさそり座など、星座の解説もたっぷり。前夜に引き続いての大変な賑わいでしたが、他の曜日の運営委員さん達の応援もあり、助かりました。



- 7/14(土) 飽田公民館で 「星空から宇宙を探る」 講演会**
- 7/14(土) YMCA学院高校 天文講座 (星空体験)**
- 7/21(土) 水俣市立第1小学校 星の観察会 (出張)**
- 8/17(金) フィールドミュージアムへ飛びだそう！**
- 8/20(月)~22(水) PAOTITS合宿 (国立天文台にて)**

緊急調査レポート

人は七夕になにを願うのか？

高田ゆういち

仕事の帰りに立ち寄ったコンビニに、七夕飾りがしてありました。笹は、プラスチックの模造品ですが、お客様が書いた短冊がいくつもぶら下がっていました。読んでみると、思わぬことが書いてあって、その内容に噴き出してしまいました。

その時、同じ七夕笹飾りでも、場所場所で、願い事に違いがあるのではないか？と疑問が頭に浮かび、さっそく調査をしてみることにしました。

今回、簡単ではありますが、星屑の紙上を借りまして結果を報告してみたいと思います。

まずは、近所にある町の図書館。本物の笹が入口前のロビーに飾ってありました。20ほどの短冊がぶら下がっていました。やはり多かったのは、

家族みんなが健康で幸せに暮らせますように

という定番もので、文面は微妙に違いますが、似たようなものがおよそ80%を占めていました。そのほかに、

プリキュアになりたい

プリキュアも次々代替わりしていますが、いまだ人気があるようです。

あとは、幼児がかいた絵か文字か判読できないもの、それと、図書館の人が書いたと思われる**本好きの人が増えますように**がありました。

次は、大型ショッピングセンター内の、人気某焼き肉チェーン店。ちょうどお昼時で、人が列をなして並んでいるところに、ずうずうしく割り込んで入り口にある笹を観察してきました。

やはり、**家族健康幸せ** が多かったのですが、特徴として子供が書いたものが目立ち、そしてなぜかスポーツ関係が多かったです。代表例：

25mを20秒台で泳げるようになります

数値目標をあげて、達成できたかできないか、はっきり分かる書き方です。これだったら、神様も願いをかなえやすいと思います。目に付いたものとして、

お母さんにカレシができますように

親思いの良い子ですね。

プリキュアに会えますように

ここでもプリキュア人気です。



次は、某地方物産館。店の入り口に2本の笹が用意されていました。大部分はお店の人がかいた短冊で、ここで特筆するものはありません。

次は、冒頭にかいた某コンビニ。道路沿いにいたるところにコンビニがありますが、笹飾りをしてあるところは意外と少なく、私の行きつけのコンビニ（約9軒 2012年7月現在）の中ではここ1軒だけでした。まず、目をひくのが、

お金持ちになりたい

など、金銭的利益を願うものが半分以上を占めていたことでした。なんだろう、誰か一人でも書いてぶら下げる、後につづくのでしょうか？

宝くじがあたりますように 良い出会いがありますように

ひとつの短冊に2つとは、欲張りです。ほか、バラエティにとんだものが続きます。

(人名)のわきの においが なくなりますように

思わず笑ってしまいますが、本人（とその同居人）には切実な問題なのでしょう。

仕事が みつかりますように

業績不振により、親会社が大々的なリストラを発表した私にとっては、明日は我が身です。

大人になりたくない

これは、なんでしょうかね。反対に、

はやく おとなになれますように

というのもありました。それぞれどんな思いがあるのでしょうか？

彼女が 出来ますように

字、でかすぎです。

いいことが いっぱいありますように

願いが抽象的です。

女ぐせが 治りますように パワハラ上司が いなくなりますように

世の中、いろいろあります。

こびとづかんの カクレモモジリに あえますように

わからなかつたので、うちの子どもに、「『カクレモモジリ』って知っているね？」と聞いたら「知っている、確かに・・・かわいいけど・・・実際に会いたくはないね」と答えました。

笑顔で 毎日 すごせますように

大きな幸せでなくても、笑顔が絶えないふつうの生活が続くことが幸せなのです。



ところで、自分のところに話をもっていきますと、このあいだ、嫁さんが子供2人をつれて町のショッピングセンターに行ったとき、短冊にかいてきたそうです。

嫁さんからの報告によると、下の息子は、

オスプレイが あんぜんに なりますように

ニュースででてくる例の飛行機が気になっているようです。

上の娘は、

太陽活動が 平おんで ありますように

ちょうど、この直前、私が買ってきていた「日経サイエンス 2012年8月号 『特集 太陽異変 活動低下で地球は寒冷化?』」を読んでいたようです。（左：表紙）

と、天文の話になったところで、この調査レポートは終りにしましょう。



ちょっと一眼

Poem & Illustration

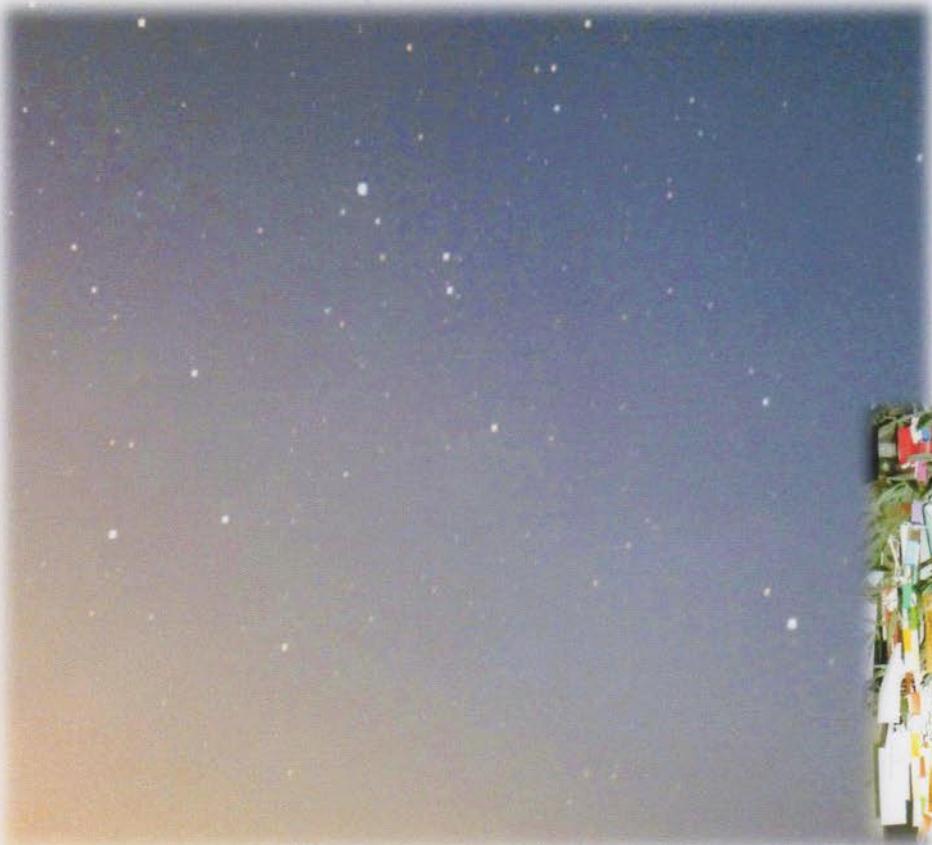
金星の日面通過を最後に、梅雨に突入。それも、まあびっくりするほど雨天曇天続き。日中晴れ間が見えて、これは夜期待できるかも、と思っても、日没時にはべた曇りになるというパターンで、この一ヶ月、星のほの字も見えませんでした。

そんな中、7月7日は七夕とあってたくさんのお客様。残念ながら、雲間にベガとアルタイルがちらりと見えた程度でしたが、ちらりと見えただけでも梅雨のさなかの新暦の七夕としてはたいしたもの。そして、翌8日は、本当の梅雨の中休み、奇跡のような快晴の星空となったのでした。こちらも久々の晴天でたくさんのお客様でした。

さて、いよいよ梅雨の末期。とうとう大雨の被害が白川水系に出てしまいました。こちら緑川水系の方は今のところ無事ですが・・・

被害にあわれた方にお見舞い申し上げるとともに、亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。

そして、これ以上の被害が出ないうちに梅雨明けしますように。みんなで心穏やかに星空を楽しめるようになってほしいと、切に願います。



雨水 2

空のどこかに
亀裂ができたらしい
いっぱいいっぱいに溜めこんだものが
とめどなく溢れてくる

塞ごうとして伸ばした手を叩きつける
絶対的な拒否
その意志の激しさに
ヒトは恐れおののくしかない

(泣いているのか 織姫)

両手に抱えきれない たくさんの願いごとを束にして
叶えられない たくさんの願いごとを束にして
限りなく透明な糸に撚り 柄を走らせ
未来を織る

(もしくは 運命を)

思い通りにならない織り目の
その先を なんと呼ぼう
ああ
それでも いつの日か
杼を置き 機のそばを離れて
銀河の畔に佇む時が 来る

(月の船はどこを彷徨っているのか)



By Dio

2012年6月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 6日／14日 = 42.86%
一般来台者数 553名

総開台日数 10日
会員来台数 19名

日付	天気	担当運営	来台数	記事
2日 (土)	くもり	中島	0人	だれも来ず! 帰ります。
3日 (日)	くもり	艶島	3人	月、火星、ベガ、他 熱心な親子。このところ毎週おいでになっています。
6日 (水)	晴れの ち曇り	艶島 小林J	30人	金星の日面通過 第1・2・3・4接触観測 時々雲が出たが一応全経過見えたのでよしとしましょう。来台者向けにはわかりやすさなど少し対応が必要。みなさん楽しまれたようです。
		中島	500人	下益城城南中学校で観測会。生徒のほとんどが見ることが出来ました。次は120歳だ!と叫んでいました。
8日 (金)	曇り	西嶋	0人	夕方になって西野空と天頂あたりの雲が切れて青空が覗いていたので星屑の原稿を持ってきました。が、結局くもり。お客様ナシでもう帰ります。
9日 (土)	くもり	中島 艶島 西嶋 小林J 中島 小林M	9人	土星、スピカ、しし座γ 雲がたくさんあって無理かと思ったら何とか雲が薄くなって見えました。土星が見て良かつた! Talk about 星屑発送作業 先月のまとめ 来月の予定 アイピース選定 新しいアイピースを購入することになりました。すいぶん古くなってしまったので、コントラスト等が悪くなっていました。
10日 (日)	曇り	艶島 小林M	5人	火星、土星、スピカ 昼間は快晴だったのに、夕方から曇りでした。

日付	天気	担当運営	来台数	記事	
13日 (水)	晴れ	艶島	3人	午前	阪急交通社 アラスカオーロラツアーの募集について 協力依頼がありました。
				午後	熊本国際コンベンション協会 協会が発行している冊子への掲載や体験 コースの設定について協力依頼あり
14日 (木)	晴れ	艶島	2人	ドラッグストアモリ城南店より2名来台 設計と光害対策について協議	
22日 (金)	曇り	小林J 小林M 西嶋	0人	雲の間に晴れ間が見えたので開けましたが・・ 結局べた曇りになってしまいました。お客様も来ないし、もう晴れそうにないので帰ります。 (20:25 西嶋) と帰ろうとしたら小林Mさんが来ました!! 2インチ延長筒を41cm反射の接眼部に取り付けました。J氏からキヤノンのレンズをいただきました。 帰ろうとしたら土星が見えました。2インチ延長筒のテストを行えという天の思し召しと判断。再び屋根を開けて持ち撮影会となりました。ちゃんちゃん!	
26日 (木)	くもり	艶島	1人	熊本日々新聞社から1名来台。 【30周年】についての取材。写真撮影などなど。7月2日(日)の紙面に載るらしいです。	

実によく雨に降られた今年の梅雨です。特に梅雨末期の7月中旬の雨はすさまじかったです。ある人が「10年前に熊本に初めてやってきたとき、梅雨の雨がしとしとではなくザーザーと降ることに驚いた。しかし、その熊本の人気が今まで経験したことがない雨なんて・・・！！！」という感想を書いていましたが、正に50年ぶりの大雨だったようです。

6・26水害という名前で熊本では語り継がれている大水害がありました。昭和28年（1953年）6月26日に起きた大水害でした。私の家は熊本市中心部の繁華街にありましたが、この水害で白川からあふれ出た水が一気に坪井川の方へと流れ下り、1階が水没しました。このときの衝撃で木造3階建ての旅館の建物が少し西側へと傾いてしまいました。その後平成に入る直前に取り壊されるまで、このときの水害の痕跡が残っていました。

こんな昔語りを思い出すような大雨でした。もう雨は十分です。早く梅雨明けが来ないかなと思います。

ひげ

金星の日面通過、如何でしたか？ 金環日食の時と違って、こちらではバッチリ観測出来ました。真っ黒い金星が太陽の中に入っていく様子は、本当に見ていてワクワクでした。途中曇ったりもしましたが、概ね見られて良かったです。その金星ですが、8月には金星食があります。前回は89年でしたので、23年ぶりになります。この現象も大変珍しいので、是非ご覧下さい。14日の夜明け前の現象です。

☆8月の天文現象＆行事☆

- 2日（木） 満月（12：27）
- 6日（月） 小惑星ベスタとアルデバランが最接近
- 7日（火） 立秋(りっしゅう)…暑気はまだ強いが涼風吹き始め、秋の気配立つので立秋)
- 10日（金） くじら座ミラが極大（2.0～10.1等 周期332日） 下弦（03：55）
- 11日（土） トーカアバウト（天文台にて 20：00～ 変更の場合もあります）
- 12日（日） 12日～13日にかけて、ペルセウス座流星群が見られる
- 14日（火） 夜明け前に金星食が起こる（福岡：明縁から潜入 02:42→03:27）
- 15日（水） 金星が西方最大離角（18:07 -4.3等、視直径23.6")
- 16日（木） 水星が西方最大離角（21:04 0.0等、視直径07.4")
- 17日（金） フィールドミュージアム「夏の星空観察」
- 18日（土） 新月（00：54）
- 23日（木） 処暑（しょしょ… 旺盛な太陽も次第に衰え、暑熱も退く）
- 24日（金） 上弦（22：54） 伝統的七夕
- 25日（土） 海王星がみずがめ座で衝（03:16 7.8等、視直径02.3")
- 31日（金） 満月（22：58）

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2012年8月号 通巻449号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01700-5-105697

NPO熊本県民天文台事務局

天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp

メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで